



## プラネタリウム 春番組 『春のどうぶつ星座探検』

投影期間3/3~5/20

### 〈内容〉

春のやわらかい光を感じられる星座観察は、北の空高くに昇った北斗七星から始めましょう。北斗七星は、北極星のほかにも、春の星を探す目印になります。

北斗七星のひしゃくの部分から緩やかな曲線を延ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカ、そしてからす座を見つけることができます。(春の大曲線)

また、春の注目はかに座のプレセペ星団です。ししの大鎌とふたご座の間に、光害の少ない空なら、肉眼でも美しいプレセペ星団がみられます。

それでは、プラネタリウムで春の星座観察をしてみましょう。星座のお話もあります。

### 〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

## 天体ニュース



### 水星と金星が接近

日没後30~40分ごろからの西の空で、水星と金星が接近します。地動説を提唱したコペルニクスでさえ水星は見られなかったという逸話が残っています。

しかし、3月上旬に4度と極めて明るい金星の近くにある水星はみつけやすく、位置さえ分かれば、肉眼でも充分見つけることができるので探してみましょう!

水星が東方最大離角  
2018年3月16日日の入り45分後



### 【かに座】

## 今月の星座紹介



「かに座」は、誕生星座として知られている星座でかにの甲羅にあたる四角形に並んだ星が目印です。

この四角形の中にたくさん星が集まっている「プレセペ星団」があります。

ギリシャ神話では、「うみへび座」の仲間とされていて、勇者ヘルクレスがウミヘビを退治した時、一緒に倒されてしまったそうです!

